

もりおかし

少年センターだより

平成26年11月発行

第 202号

盛岡市少年センター
盛岡市肴町2番29号
盛岡市役所肴町分庁舎4階
TEL651-4111内線6077・6078

列車通学生への乗車マナー指導巡回

平成26年10月3日（金曜日）午後5時10分から、列車通学生への乗車マナー指導巡回を実施しました。

指導巡回に先立ち、JR講習室において、盛岡市の細川市民部長があいさつを述べた後、東日本旅客鉄道盛岡支社サービス品質改革室長から、列車通学生の現状についてJR利用者からの声を交えて報告があり、今後も関係機関と協力しながらマナーアップを進めたいとの説明がありました。

JR利用者からの声は、歩きスマホだけがをしそうになった、お年寄りや体の不自由なお客様に席を譲らないで騒いでいる学生がいる、学生が足を投げ出し、足元や座席に荷物を置き占拠している、杖をついて歩いているとホームで学生が複数でいる所が通りにくいなどでした。

次に、いわて銀河鉄道経営企画部法務担当副課長から、通学生の多い盛岡駅・滝沢駅間では大きなトラブル等はなく、他の利用者に迷惑をかけている状況も見られないとの報告がありました。

この後、乗車マナー指導巡回班・公共施設利用マナー指導巡回班・乗車マナーアップ啓発活動班に分かれて活動をしました。



JR改札口



参加団体と協力しマナーアップを呼びかける

列車通学生への乗車マナー指導巡回に参加された方々へのアンケートに、歩きスマホの報告が数件ありました。歩きスマホは事故につながる危険性があるので、今後も注意喚起の必要性を感じました。

また、乗車マナー指導巡回を継続してほしい等の意見もありました。

アンケートから分かったこと

参加機関：盛岡市、滝沢市、紫波町、矢巾町、雫石町、東日本旅客鉄道株式会社、

いわて銀河鉄道株式会社、日本たばこ産業株式会社、盛岡たばこ販売協同組合、

盛岡地区高等学校生徒指導連絡協議会、岩手県警察本部生活安全部地域課鉄道警察隊

平成26年度東北地区青少年補導センター連絡協議会⁽²⁾ 定期総会及び第29回定期研修会「盛岡大会」

平成26年度東北地区青少年補導センター連絡協議会定期総会及び第29回定期研修会「盛岡大会」が、10月10日（金曜日）盛岡市のサンセール盛岡（大ホール）で開催され、東北6県から、少年の非行防止や健全育成に携わっている179人が参加しました。



会長あいさつ

東北地区青少年補導センター連絡協議会
会長 中野 玲子

事例発表

3つの県の代表から「巡回活動」「啓発活動」「相談事業」のテーマに沿った特徴のある事例発表があり、質疑応答を行いました。

テーマ [巡回活動]



「秋田市の街頭巡回活動について」

秋田県 秋田市少年補導センター
指導委員 石田 美恵子さん

秋田市の街頭巡回は定例巡回（月3回）、特別巡回（各種大会等多くの人出が予想されるイベント）、地区巡回（9地区の年間計画に基づき自主的に巡回）で実施しています。

秋田駅の東側地域は、近年急速に発展しており、巡回活動は、地域や学校の行事などに合わせて調整をしています。また、各学校と連携し健全育成活動を進めています。

テーマ [啓発活動]



「青少年育成に係る啓発活動について」

宮城県 多賀城市青少年育成センター
青少年指導員 齋藤 昭雄さん

11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に「愛の一声」による街頭指導・啓発活動を実施しています。多賀城駅前、大型店舗など4カ所で、「地域ぐるみで青少年を育てよう」ののぼりを揚げ、チラシとともに広告入り「野菜の種」を配り、市民への呼びかけに工夫をしています。

また、今年4月から巡回車に青色回転灯を装備したことから、より防犯効果が期待されます。

テーマ [相談事業]



「リスタートクラス （若者社会参加支援）相談事業」

山形県 最上広域青少年補導センター
指導主幹 小條 恒友さん

リスタートクラスとは、不登校のまま中学校を卒業したり、高校を中退したりするなど社会との関わりが少ない状況の青少年に対して、高校再チャレンジ、アルバイト就労などができるようサポートするところです。活動内容は、個別相談（面接・メール・電話）、仲間づくり（語らいの場の提供）、アウトリーチ（近隣町村に出向いての相談、家庭訪問）、他機関との連携（適応指導教室・フリースペース等）、その他（リスタート通信発行）を実施しており、若者の支援に様々な取組を行っています。

講演

演題 「問題行動」の理解と対応

講師 岩手大学教育学部

附属教育実践総合センター准教授

山本 奨 先生



問題行動とは誰にとって問題なのでしょう。という問いから始まりました。

臨床心理士として子どもたちと関わってきた立場から、大人と子どもの物事の捉え方の違いを分かりやすく説明していただきました。また、現在の義務教育制度では不登校になると同じ学年に戻ることは難しいことです。そうした中で子どもたちは不適切なことをしてしまうわけですが、取り戻せる段階で気付かせて、適切な方法で支援するためにはどうしたらよいか、次の3つの要点でお話しをいただきました。

- 1 「問題行動」を「ストレス」で理解してみましょう
- 2 子どもの関わりのコツを学びましょう
- 3 子どもの内面について、不登校問題を例に考えてみましょう

先生のお話しは私たちの活動に刺激を与える内容でした。日頃の活動の点検をするきっかけにし、これからの街頭巡回に役立てていきたいと思えます。



冬期間巡回注意点

これからの時期、ますます寒さがきびしくなってきます。積雪や、路面の凍結など冬期間は巡回前の準備や巡回中も注意することが多くなってきます。体調を崩したり、けがをしたりすることのないように気をつけてください。

🍁 12月から3月までの間は巡回の集合時間が変わります。

- 〔 午後巡回班：6～10班（集合時間：冬期15時から）
- 〔 夜間巡回班：11～34班（集合時間：冬期18時から）



🍁 防寒対策をしっかりと。

🍁 路面が凍結している場合があるので、足元に注意し、なるべく滑りにくい履物にする。

🍁 夜間巡回には、必ず懐中電灯を携行。

🍁 地区巡回の場合、大雪や低温等で巡回が困難なときは、班長が少年センターに連絡の上（夜間巡回の場合は後ほど電話、またはFAX）延期または中止してください。

盛岡八幡宮秋季例大祭特別巡回



☆9月14日（日曜日）

4班（特別）19:00～21:00

肴町アーケードは祭りでにぎわっていた。護国神社の境内に数組のカップルが座り込んでいたが、神社の裏手は人影が無かった。羅漢公園内に入る直前に男女グループが立ち去った。東屋にパーティーグッズ（付けまつげ・ドラキュラの牙）等が放置されていた。

盛岡城跡公園の多目的広場で制服男子2人に声をかけ、東屋でカップル2組にそれぞれ声をかけた。

☆9月15日（月曜日・祝日）

5班（特別）15:00～17:00

大通りは、年配者、親子連れ、若者や学生など多数見られた。

カラオケ店は、全体的に利用者が多く、学生は同性グループの利用が目立った。

カラオケ室内で男子が女子に抱きついていたので、入室し注意をした。

ゲームセンターサンシャイン前で、女子高生4人、男女私服2人に声をかけた。

☆10月6日（月曜日）

25班（厨川中学校地区）19:00～20:00

ゲームコーナーで男子中学生4人を確認、帰るように指導したところ素直に帰った。また、男子小学5年生が1人でいたので声をかけたところ、おじいさんと一緒のことだった。

ゲームショップで、男子高校生3人組がカードで遊んでいた。早めに帰るよう指導。

☆10月15日（水曜日） 盛岡駅合同巡回

17班（下橋中学校地区）19:00～20:40

モリーオ広場の東屋にいた私服学生カップル1組と制服高校生カップル2組に、明るい所に移動するように声かけをした。高校生カップル2組は、電車の時間を待っているとのこと。滝の広場のベンチにいた女子制服高校生3人組みに声かけをした。迎える車を待っているとのことだった。

少年センター補導状況<9月・10月>

平成26年9月24日現在

区分	性別	補導件数	行 為 別				場 所 別					26年度累計		
			不健全	喫煙	怠学	その他	カラオケ	ゲーセン	公園	路上	その他			
中学生	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
高校生	男	2	3	1	1	0	0	2	0	0	0	0	14	23
	女	1		1	0	0	0	1	0	0	0	0	9	
専門学校生	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	13
	女	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
大学生	男	2	3	1	1	0	0	2	0	0	0	0	3	5
	女	1		1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
有職・無職	男	4	9	1	3	0	0	4	0	0	0	0	20	34
	女	5		1	4	0	0	4	0	0	1	0	14	
計	男	8	15	3	5	0	0	8	0	0	0	0	45	75
	女	7		3	4	0	0	6	0	0	1	0	30	
	計	15		6	9	0	0	14	0	0	1	0		